

茨 城（西石田）

関東支部 大久保雅弘

今年の夏は全国各地観測所の歴史を塗り替える最高気温を更新しています。毎日のTV天気予報でも「茨城(西石田)」という地名が頻繁にお目にかかりますが茨城県に関連する方々が多いのでご照会します。

何と、この地は現筑西市(旧下館市)関東工場の有りました当市であります。当市は日本のど真ん中を横切る50号線、茨城県の太平洋側の水戸市から栃木県経由で群馬県の前橋までを走る赤道ベルトと呼ばれる地帯であります

此の「西石田」は筑西市の郊外南側の見渡す限りの水田地帯の真ん中に所在し南につくば山を望む一面の水稻栽培地帯に囲まれ、その真ん中にぽつんとある大きな村落です

観測所は小学校の百葉箱ですが村長さんの自宅と言ったら何と四方は塀に囲まれ、その庭園内には大きな水田が広がるといったところです。今年の「コシヒカリ」は暑さに弱い品種と言われていまして一等米への確率は下がるのではないのでしょうか？

この地から車で約10分程、南下すると昨年度より開設された協友アグリの研究所以びに営業所があります。

澄み切った空気に黄色い穂波が波打ち霊峰筑波山をバックに3.6ヘクタールに約100万本のひまわりフェス(8月末から9月上旬)の総勢さはゴッホのひまわりにも劣らぬ景色が見られます。

筑西市は近隣四市町村と合併以来二十周年を迎えていますが交通網では水戸線、(栃木県小山-新幹線)-(勝田・常陸国立海浜公園)++真岡線(下館-真岡 益子焼SL列車運行)++常総線(下館-筑波TX-東京)と四方の交通交差点として恵まれ昔は足袋底の製造の産地として大いに活況を呈していましたが現在は芸術文化の蔵の街としてひっそりと生きています。

また下館工場跡地は往年の姿は有りませんが一大ショッピングモールに変身し多数の店舗や交番なども立ち並び駐車場も広く近隣からは好評を得て繁栄しています。

私は

”目覚ましの ベルはまだかと 起きて待つ” ”起きたけど 寝るまで特に 用はなし”

”目には蚊を 耳には セミを養っている” ”名が出ない あれ、これ、それで用を足す”

”三時間 待った病名「加齢です」” ”最近の話も 入れ歯も かみ合わず”

”歳重ね もう食べられぬ 豆の数”の日々の生活です。

以上

